

2023 年 度 事 業 報 告 書

特定非営利活動法人 I M A G I N U S

1 事業の成果

今年度は、人材育成事業としては、日本人大学生対象のインターンシッププログラムをインド／フィリピンで実施した。さらに他団体と協業でオンラインによる多文化理解プログラムを実施した。広島では子どもの自然体験や農を中心とした生活、イベントも実施した。国際協力事業では、インドの児童保護事業（ジャグリティ）を学生団体 Smiles Production と共同で運営費を捻出し継続することができた。また、昨年度開校したみんなの学校（SAC）を継続した。さらに、フィリピンネグロス島での 4 年目の奨学金プログラムは、11 名の山間部の子どもたちとその家族へ支援を行った。また奨学生対象の寄宿舎を 2024 年 3 月に開所することができ、4 名が入寮した。産品開発事業も行っており、ネグロス島産のサトウキビをパッケージする収入向上プログラムも実施した。ボランティア活動事業では、2023 年 7 月の豪雨災害の支援、2024 年 1 月に発生した能登地震の被災地に、災害ボランティア派遣を行なった。災害ボランティアに関する講演やネットワークづくりにも積極的に取り組んだ。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (単位：千円)
人材育成事業	<u>学びの場作り</u> フィリピンで実施している事業を題材に山口県立高校のオンラインプログラムを受託した。フィリピン文化を学べる機会の提供を行った。	9月 10月 11月 2月 3月	オンライン/ フィリピン	1名	120名	<u>1,584</u>
	<u>フィリピン・インドにおけるインターンの受け入れ</u> フィリピンやインドのプロジェクトサイトでインターン生の受け入れを行った。	8月 9月 10月	インド フィリピン	3名	7名	
	<u>絵本の森 子どもの自然体験</u> きんぎょ荘周辺の里山整備、親子への有機農業体験、イベントを行なった。	通年	広島	2名	50名	
国際協力事業	<u>寄宿舎建設事業</u> 2023 年 3 月に開始した建設が進み、2024 年 3 月に寄宿舎「Malika Boarding House in Negros」の開校セレモニーを実施。4 名が入寮した。	通年	フィリピン		—	<u>29,902</u>
	<u>奨学金支給と村落開発事業</u> フィリピンネグロス島における奨学金プログラムは 4 年目。コ	通年	フィリピン	現地スタッフ2名 日本人ス	10名の子どもとその家族	

	ロナの影響もなくなり学校が再開された。11世帯の子どもへ支援を行った。サトウキビシュガーのパッキングにより収入向上プログラムを実施した。			スタッフ2名		
	<u>児童保護事業</u> インド西ベンガル州ニュージャールパイグリ駅周辺の女児を保護するためのシェルターの運営。	通年	インド	現地スタッフ2名 日本人スタッフ2名	施設利用者数延べ150名	
	<u>インドみんなの学校(SAC)</u> インド政府が打切ったNCLPスクールのうち3校を運営。2年目日本の学生のコミットメントが増えた。	4月～	インド	現地スタッフ2名 日本人スタッフ1名	160人の子どもと教師8名	
	<u>研究活動</u> インドの地域研究を開始した。	通年	インド	日本人スタッフ1名、研究者3名	—	
ボランティア活動事業	<u>災害時ボランティア活動</u> 令和5年7月豪雨の被災地（久留米市）に学生ボランティアのマッチングをした。被災地（大田市）で学生ボランティアと協働。 令和6年能登半島地震の被災地にボランティア派遣。	7月 7月 2月		2名 4名	学生4名 被災者多数 学生3名 10名	<u>79</u>
	<u>防災啓発活動</u> 能登半島地震ボランティア活動報告会の開催。東広島学生ボランティア研修・交流会に参加。大学生に講演会。	3月	国内（広島）	4名	交流会参加者50名、講演会参加者30名	
	<u>防災プラットフォームへの参画</u> 内閣府のモデル事業である広島市東区早稲田学区での防災プラットフォームへ参画。	年4回	国内（広島）	1名	行政職員や自治会役員等20名	
上記事業に関連した情報提供	団体ホームページの運営	通年	ネット上	2名	ホームページ	<u>上記事業費内に含まれる</u>
その他の事業	実施なし	—	—	—	—	<u>0</u>

以上